



2022年「9月印刷の月」記念式典を開催

日印産連表彰——印刷功労賞9名、印刷振興賞17名が受賞

第20回印刷産業環境優良工場表彰——12工場を表彰

2022年「9月印刷の月」記念式典を、9月14日(水)午後4時より東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「鶴の間」に於いて、経済産業省をはじめとする来賓を迎えて開催した。「印刷の月」は、活版印刷の祖である本木昌造氏に敬意を表し命日である9月を印刷月間と定めたもので、印刷産業に対する社会の理解と認識を深めることを目的に、毎年さまざまな企画を展開している。

印刷業界の発展に貢献した功績を称え贈られる日印産連表彰は2022年度、印刷功労賞9名、印刷振興賞17名が選ばれ表彰を受けた。

また、第20回印刷産業環境優良工場として12工場を選出。経済産業大臣賞を(株)太陽堂印刷所 第一工場(千葉市)が受賞、日本印刷産業連合会 会長賞に3工場、同奨励賞には8工場が選ばれた。

表彰式後には、第46回技能五輪国際大会(特別開催)印刷職種に日本代表として出場する(株)丸信の甲斐田光氏の健闘を称える壮行セレモニーを行った。

昨年に続き新型コロナウイルスの感染対策のため、講演会と懇親会は中止としたが、記念式典は拍手に包まれ晴れやかに終了した。

北島会長あいさつ

記念式典は一同起立しての国歌静聴によりスタートした。開催にあたり主催者を代表し北島義斉会長が登壇、挨拶を行った。

「平素は、日本印刷産業連合会の活動に、ご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなが、皆さまの多大なるお力添えのもと、本年多くの方々をご来賓としてお迎えし、この式典を開催できますことに深く感謝申し上げます。

「日印産連表彰」と「印刷産業環境優良工場表彰」を受賞された皆さまには、心からお祝いを申し上げるとともに、これからも

業界発展のためにご尽力賜りますようお願い申し上げます。

また、第46回技能五輪国際大会 印刷職種に日本代表として出場する(株)丸信の甲斐田光氏には、日頃の業務で培った技術とトレーニングで得た成果を存分に發揮していただきたいと思います。

さて、国内外でコロナ対策と経済活動の両立が進み、国内では緩やかな景気の回復の持ち直しがみられる一方、ウクライナ情勢を始めとして地政学リスクの高まりや物価の上昇、円安の影響などによって、依然として先行きは不透明な状況が続いています。印刷業界は、紙の印刷需要の減少、用紙・フィルムなどの原材料やエネルギー費の値上がりなど経営環境が厳しさを増す中でも、人々の暮らしや働き方に対応した情報サービスやECの活性化、



主催者を代表して挨拶する北島義斉会長

DXの推進などによって、新しい価値の創出に取り組んで参りました。

政府も新しい資本主義の実現に向けて様々な施策を続けておられます。そのひとつに円滑な価格転嫁に向けた取り組みがあります。日印産連では昨年度末から3回に渡り「印刷物ご発注に関するお願い」の文章を会員企業の皆さんに発信いたしました。また、この9月は価格交渉促進月間でもあり、本日9月14日の日本経済新聞朝刊に、日印産連および関連10団体の連名で意見広告を掲載しました。ぜひお取引先との交渉を粘り強く進めただくとともに、こうした取り組みの成果を品質・サービスの向上などに努め、印刷産業への理解につなげていっていただくことを期待したいと思います。

日印産連は2022年度、従来の委員会・部会を見直し、SDGsの推進を事業の柱として活動を強化していきます。本年6月には、印刷業界用の「SDGsターゲット マッピングリスト」を開発し、日印産連のWEBサイトに掲載しました。ぜひこのリストを多くの会員企業の皆さんにご活用いただき、SDGsゴール達成と新たな社会貢献やビジネスの創出にお役立ていただきたいと思います。

また、本年11月に行われますIGAS2022(国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展)に、日印産連および会員10団体としてブースを出展いたします。私たち業界団体の結束の場として、スローガンである『Change Together』の通り、印刷業界全体や社会に向けて印刷の強みを活かしたイノベーションの姿や持続可能なよりよい未来を実現していく印刷業界の未来について、発信していく予定です」とし、会員10団体と関連業界の今後の発展を願って結びとした。



来賓祝辞 藤田清太郎 経済産業省商務情報政策局 審議官



一同起立しての国歌静聴

来賓祝辞

ついでご来賓の紹介があり、代表して経済産業省商務情報政策局 藤田審議官よりご挨拶をいただいた。記念式典開催への労いと受賞者へのお祝いの言葉のあと、「新型コロナウイルス感染症や現在の原油価格、物価高騰など大変厳しい経済状況の中になりますが、印刷産業の持続的発展に向け経済産業省は、事業活動の新たな価値創造をもたらす新分野展開や業態転換、事業・業種の転換などの事業再構築に対する支援やデジタル化など生産性を向上させる前向きな設備投資への支援を通じて、引き続き応援させていただきます。

さらに官民連携の下での社会課題を成長のエンジンに変え、力強い成長を実現する持続可能で包摂的な社会経済を作っていくため、新しい資本主義を実行して参ります。その一つとしてパートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージおよび取引適正化に向けた五つの取り組みに基づき、下請け取引適正化に取り組んでいく所存です。貴連合会においては印刷業界の下請取引環境の実態を踏まえ、印刷業界の自主行動計画を策定いただきました。これを受け、適正な取引を推進していくための下請ガイドラインの改定案、印刷産業における取引改善方策を皆さんと共に検討を進めています。引き続きお力を貸し願えれば幸いです。全国の各地域に根ざし事業を展開されている皆さまの活躍なくして日本経済の成長はありません。今後も地域から日本を元気にしていただくことを期待しております」と、課題解決への支援と協力が語られた。



会場の様子

2022年度 日印産連表彰

新しい技術の開発や業務の改善や後進の育成など、印刷産業の発展に寄与された方々に対して行う印刷功労賞には、別掲9名(P7~)が表彰され、代表して池田印刷(株)代表取締役 池田幸寛氏にプレゼンターの北島会長から表彰状と記念品が授与された。なお、トーアイン(株)春公明氏は受賞決定後に逝去されたため、授与式では同社代表取締役社長兼COO 高橋太氏が代理として受け取った。

印刷振興賞は別掲17名(P10~)が受賞し、二組に分かれ授与式を行った。(株)博多印刷 取締役会長 白石秀充氏と(株)ミヤプロ 代表取締役 宮寄佳昭氏がそれぞれを代表して表彰状と記念品を受け取った。

受賞者を代表し、印刷功労賞を受賞した池田氏が「私がこの業界に入ったのは40年前になります。生まれたときから家業が印刷業で、自宅の隣に会社があり幼少の時から活版印刷

の組み版や活字で遊んだ、根っからの印刷人です。まだまだこのような賞をいただくような年齢ではないと思いながらも、業界の皆様に対しても後輩たちに対しても、印刷のすばらしさを伝えていきたいと思っています。本日は誠にありがとうございました」と、謝辞を述べ、会場から盛大な拍手が送られた。

第20回 印刷産業環境優良工場表彰

印刷産業の各企業の環境問題に対する取り組みを推進すると共に印刷工場の環境改善及び社会の一層の支持・理解を獲得することを目的に印刷産業環境優良工場表彰は、2002年に開始し、過去19回、延べ294工場が受賞している。2022年度は、一般部門・小規模事業所部門合わせて65工場の応募があり、その中から12工場が選出された。

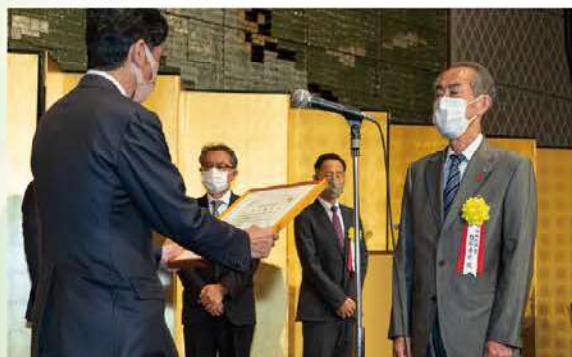
経済産業大臣賞は第18回、第19回と該当しなしだったが、今年度は(株)太陽堂印刷所 第一工場が大臣賞を受賞。経済産業省 藤田審議官より日暮秀一代表取締役に賞状とトロフィー



印刷功労賞受賞者を代表して表彰状を受け取る
池田印刷(株)・池田幸寛氏



印刷功労賞受賞の諸氏



印刷振興賞受賞者を代表して表彰状を受け取る
(株)博多印刷・白石秀充氏(1組目)



印刷振興賞受賞者の1組目の諸氏



印刷振興賞受賞者を代表して表彰状を受け取る
(株)ミヤプロ・宮寄佳昭氏(2組目)



印刷振興賞受賞者の2組目の諸氏

が手渡された。

日本印刷産業連合会 会長賞は、秋田印刷製本（株）御所野工場、光ビジネスフォーム（株）高尾工場、（有）中正紙工の3工場が受賞した。代表して秋田印刷製本（株）代表取締役社長の大門一平氏に、北島会長より賞状と記念品が贈られた。

奨励賞には、アート印刷（株）川崎工場、東洋美術印刷（株）埼玉工場、（株）丸信 本社・山川工場、（株）ILファーマパッケージング 愛知工場、（株）武揚堂 目黒事業所、佐川印刷（株）日野工場、（株）ダイター 本社川越工場、株式会社天正印刷の8社が受賞。代表として佐川印刷（株）日野工場の坂本氏に賞状と記念品が授与された。

経済産業省 商務情報政策局長賞と一般社団法人日本印刷産業連合会 特別賞はともに該当工場無しとなった。

受賞者を代表し（株）太陽堂印刷所の日暮氏が登壇、謝辞を述べた。

同工場は1990年に操業を開始した、千葉市内の準工業地域

の印刷団地にあるビジネスフォーム、商業印刷、データ出力サービス等の委託業務を手がける工場である。

「私どもの会社は第5回に奨励賞をいただき、それからの16年間、環境に配慮した様々な施策を打つことで日印連会長賞や商務情報政策局長賞を受賞し、今回は経済産業大臣賞に浴することができました。

環境分野は様々な法律に則って対応せざるを得ません。温暖化の影響で地球環境が悪化するなか、各社がそれぞれ少しでも改善に向かう方策を考え、一歩ずつ突き進めていかなければ、2050年のゼロエミッションには到達できないのではないでしょう。我々には小さな力しかないかもしれません。しかし、大きな課題を背負っているのだと思います。各機械メーカー、資材メーカー等の方にもご尽力いただき、この世の中で求められる印刷産業になるべく、皆さんと力を結び努力していくなければならないと思います」と語った。



池田印刷(株)・池田幸寛氏による謝辞



経済産業大臣賞(株)太陽堂印刷所・第一工場



北島会長・日暮代表取締役・藤田審議官による記念撮影



日本印刷産業連合会 会長賞受賞者を代表して表彰状を受ける秋田印刷製本(株)御所野工場



日本印刷産業連合会 会長賞受賞工場の3氏



(株)太陽堂印刷所の日暮秀一氏による謝辞



奨励賞受賞の8工場

9月印刷の日

第46回技能五輪国際大会（特別開催） 「印刷」職種 壮行セレモニー開催

表彰式を終えた会場で、本年10月12日から15日にスイス・アーラウで開催される第46回技能五輪国際大会（特別開催）「印刷」職種日本代表として出場する（株）丸信の甲斐田光氏の壮行セレモニーを行った。エキスパートはハイデルベルグ・ジャパン（株）田中剛氏が務める。

本大会は2021年から1年間延期のうえ最終的に中止が決定された中国・上海大会の代替措置として、日本を含む15ヶ国で分散開催することに正式決定された。

日印産連技術部会の福田部会長から両氏に花束と激励の言葉が贈られた。

「甲斐田氏の国際大会への挑戦は2018年カザン大会の代表選考会から始まりました。このときは惜しくも2位となりましたが、2020年に再度挑戦し優勝、見事に代表の座を獲得されました。しかしその直後コロナ禍の影響で開催延期や中止の決定があり、その間モチベーションを維持することは、大変困難だったと想像します。5年越しの挑戦です。悔いの残らないよう全力で戦ってきてください。そして一生に一度だけの機会を十分に楽しんできしてください。結果を楽しみにしています」

甲斐田選手は「大会まで後一ヶ月を切り、訓練もここからが詰めになると思っています。指導者の方から“訓練中に笑いは必要ない、本番で笑えればそれでいい”と言われたので、訓練中は一切笑わずに取り組み、大会で実力を発揮して悔いの残らな



国際大会日本代表選手 甲斐田氏



国際大会エキスパート 田中氏

いようにやっていきたいと思います。本日は誠にありがとうございました」と笑顔で決意を語った。

同行する田中エキスパートからは「本来であれば64職種が日本チームを組んで出場するのですが、今回は特別分散開催ということでスイスには我々だけが派遣されます。甲斐田君は少し寂しい思いをすると思うので、そういう部分もサポートしながら、よい結果を残せるように頑張りたいと思います」と選手に寄り添った挨拶があった。

最後に日印産連 堆副会長より「SDGsは“売り手、買い手、世間”の三方良しです。誰一人取り残さずみんなで行こう! の文言の通り、日印産連の仲間も北島会長のもと一致団結して、この変革を乗り越えていきましょう」と閉会の挨拶があり、2022年「9月印刷の月」記念式典は無事終了した。



記念撮影



激励の言葉を贈る福田技術部会長



堆副会長による閉会の挨拶